

東松島市野蒜地区では、イチゴ狩りが楽しめる観光農園「あそら農園」が令和5年2月からオープンしている。

運営は、市内で観光施設の「奥松島クラブハウス」を運営する（株）アークリンク＝東京都＝のグループ会社である（株）アソラが行っている。品種は甘味と酸味、風味のバランスが良く、県内では珍しい「よつぼし」を中心に「もういっこ」、「ベリーポップすず」などがあり、約20㍍の温室ハウスで13,000株ほど栽培している。

県内のイチゴ狩り農園は30分制が多いが「イチゴ狩りを楽しむには30分では物足りないと感じ、お客さんに満足してもらうため45分にした」と圃場責任者の鈴木隆介さんは話す。

昨シーズンは、摘み取ったイチゴをお土産にできる「世界に一つだけのイチゴパックづくり体験」も好評だった。

（株）アソラ取締役の門脇善行さんは「観光客に喜ばれる工夫を重ね、将来はハウス規模も拡大し、通年観光で地域を盛り上げたい」と今後の目標を語る。

あそら農園のいちご



ハウス内の様子



【記事提供】東松島市農業委員会